

2020年9月11日
株式会社 PR TIMES
株式会社 ism

PR TIMES、株式会社 ism の全株式を取得(完全子会社化)

「もっと、わたしらしく」が、行動者をエンパワーメントする力へ。

プレスリリース配信サービス「PR TIMES」等を運営する株式会社 PR TIMES（東京都港区、代表取締役：山口拓己、東証一部：3922）は、2020年9月11日開催の取締役会において、Webメディア制作や企業PR支援等を行う株式会社 ism（東京都渋谷区、代表取締役：鈴木碩子）の全株式を取得し、完全子会社化することを決議しました。



（左から、1列目 ism 鈴木代表、平出取締役、2列目 PR TIMES 三島取締役、山口代表、名越執行役員、江口執行役員、3列目メディア事業部 平野部長、筒井、鳥居、山田、柴藤、4列目 PR パートナー事業部 樋口、根本、渡邊、長澤、村上）

ism（イズム）は、「もっと、わたしらしく」のビジョンのもと、「女性の働くを楽しくする」ことに繋がる事業を展開し、働く女性向けコミュニティ「ism」を運営しています。Webコンテンツのマーケティング支援、企業のオウンドメディア運営支援、企業の広報パートナーとしてPR支援等を行う、2017年4月創業のスタートアップ企業で、役員社員は全員女性で構成されています。



PR TIMES（ピーアールタイムズ）は、「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」をミッションに掲げ、企業とメディア、そして生活者をニュースでつなぐインターネットサービス「PR TIMES」を2007年4月より運営しています。報道機関向けの発表資料（プレスリリース）をメディア記者向けに配信するとともに、「PR TIMES」およびパートナーメディアに掲載し、生活者にも閲覧・シェアされています。利用企業数は2020年6月に4万社に到達、国内上場企業40%に利用いただいています。情報収集のため会員登録いただくメディア記者1万8000人超、サイトアクセス数は月間5000万PVを突破、配信プレスリリース件数は月間1万5000件を超えています。全国紙WEBサイト等含むパートナーメディア198媒体にコンテンツを掲載しています。



また、クライアントとメディアのパートナーとして広報PR支援を行うPRパートナー事業や、ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」の運営、動画PRサービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」の提供、タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」やカスタマーサポートツール「Tayori」の運営、スタートアップメディア「BRIDGE」等のメディア運営も行っています。

PR TIMESにismが加わることで、伴走を必要とする「PR TIMES」ご利用企業様の広報支援やWebコンテンツのマーケティング支援などPRパートナー事業の強化、PR TIMES運営メディアのコンテンツ制作体制の強化、働く女性向けコミュニティとのシナジー効果の最大化に取り組んでまいります。

これまでの PR TIMES × ism

ism 代表の鈴木碩子は、ism 創業以前にビジネスメディア「U-NOTE」を運営する株式会社 U-NOTE（現：グラム株式会社）の一号社員として 1 万本以上のコンテンツを統括し、創業後はスタートアップメディア「BRIDGE」にて年間 100 社以上のスタートアップ取材するなど、長らくメディアパーソンとして活動。その経験を活かし、ism 社では各分野に精通したメンバーとともに多数企業の Web メディア制作やマーケティングおよび広報 PR 支援に携わってきました。

PR TIMES は 2018 年 4 月に「BRIDGE」を、同年 10 月には「U-NOTE」を事業譲受するなどメディア事業を強化し、プレスリリース配信に留まらない企業ニュースの流通拡大を進めています。

また、PR TIMES と ism の両社メンバーによる共同プロジェクトとして 2020 年 2 月に開設した PR ナレッジメディア「PR TIMES MAGAZINE」は、初めて PR 活動を担当する方にもわかりやすい、広報の教科書のような存在を目指して、PR ノウハウ等の記事更新を続けています。

わたしらしく、自社らしくありたいと願う個人や企業・団体を情報発信で支えてきた ism と、人の心を揺さぶるニュースをより多く、より広く届けるべく情報発信プラットフォームとして成長を続ける PR TIMES。「行動者に寄り添い、個人をエンパワーメントする」という同じ目標に向かって歩む同士であると、共に仕事を通して強く確信してきました。

これからの PR TIMES × ism

2020 年 10 月 1 日より、株式会社 ism は株式会社 PR TIMES の子会社となります。ism が展開する Web マーケティング支援事業および広報 PR 支援事業は、PR TIMES の各事業と連携し、広報 PR やメディアに携わる行動者の方々に対して、さらなる価値を提供できるよう邁進してまいります。

同時に、ism はビジョンである「もっと、わたしらしく」を実現するため、女性向けライフスタイルマガジン「ism magazine」の運営にもこれまで以上に注力いたします。これに伴い、バックオフィス支援事業は 2020 年内を目処にクローズし、Web マーケティング支援や企業 PR 支援等の事業に専念いたします。

株式会社 PR TIMES では、株式会社 ism の子会社化にともない、伴走を必要とする「PR TIMES」ご利用企業様の広報支援や Web マーケティング支援など PR パートナー事業の強化、PR TIMES 運営メディアのコンテンツ制作体制の強化、働く女性向けコミュニティとのシナジー効果の最大化に取り組んでまいります。

なお、当期の業績に与える影響は軽微です。

両社代表コメント

株式会社 PR TIMES 代表取締役社長 山口拓己（やまぐち たくみ）

ism が当社 PR TIMES の一員になってくれて、とても頼もしく感じています。これまで一緒に仕事する中で、当社の Mission「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」を同じく実現したいと思ってくださり、さらにグループインを提案してくれて、この日を迎えられたことが素直に嬉しいです。「PR TIMES」を通じて、世界中の生活者へまだ見ぬ素晴らしいニュースが日々届けられるように、最高のチームを目指していきます。



株式会社 ism 代表取締役 鈴木 碩子（すずき せきこ）

ism および PR TIMES のさらなる発展のため、私たちはグループインを決めました。ism は多くの「もっと、わたしらしく」生きようとする女性をはじめ、周囲のたくさんの方々のご協力によって支えられてきました。今後「PR TIMES」に集う行動者の方々を ism というコミュニティの力でバックアップさせていただくことにより、誰かの行動が情報となり、別の誰かの一步を後押ししていく輪をより拡大するため尽力してまいります。



異動する子会社（ism 社）の概要と日程等

■株式会社 ism 会社概要（2020 年 8 月 31 日現在）

会社名 : 株式会社 ism
 設立日 : 2017 年 4 月 5 日
 代表取締役 : 鈴木 碩子
 資本金 : 100 万円
 従業員数 : 20 名
 事業内容 : Web およびリアルコンテンツの制作および運営等
 URL : <https://ism-myself.co.jp/>

■取得株式数及び取得前後の所有株式の状況

- (1) 異動前の所有株式数 0 株（議決権の数 0 個、所有割合 0.0%）
- (2) 取得株式数 100 株（議決権の数 100 個）
- (3) 異動後の所有株式数 100 株（議決権の数 100 個、所有割合 100%）

■日程

- (1) 取締役会決議日 2020 年 9 月 11 日
- (2) 契約締結日 2020 年 9 月 11 日
- (3) 株式取得実行日 2020 年 10 月 1 日（予定）

株式会社 PR TIMES 会社概要

ミッション： 行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

会社名： 株式会社 PR TIMES （東証一部 証券コード：3922）

所在地： 東京都港区南青山 2-27-25 ヒューリック南青山ビル 3F

設立： 2005 年 12 月

代表取締役： 山口 拓己

事業内容： - プレスリリース配信サービス「PR TIMES」 (<https://prtimes.jp/>) の運営

- ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」 (<https://prtimes.jp/story/>) の運営

- 広報・PR の効果測定サービス「Web クリップング」 (<https://webclipping.jp/>) の運営

- クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR 支援の実施

- 動画 PR サービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」 (<https://prtimes.jp/tv>) の運営

- カスタマーリレーションサービス「Tayori」 (<https://tayori.com/>) の運営

- タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」 (<https://www.jooto.com/>) の運営

- スタートアップメディア「BRIDGE」 (<https://thebridge.jp/>) の運営、等

URL：<https://prtimes.co.jp/>

